



- *1重量は燃料の品質によって前後します。
- *2排気管長4500mm以上の場合、102mm（4インチ）以上の煙突が必要です。
- *3排気管内は正圧となるため、煙突の接続部にはOリング等で気密を保つ必要があります。

※可燃壁と本体の間に設ける遮熱壁は炉台前方を手前として高さ915mm以上、通気可能な25mm以上の空気層が必要です。

※煙突を立ち上げる場合は、煙突表面と可燃壁面との離隔は76mm以上確保願います。

※炉の耐火処理に金属板を使用される場合は、0.8mm以上の厚さの物を使用してください。

煙火、タイルも使用可能です。

※ストーブ前方の可燃物までの離隔距離は本体ガラス面より、1220mm以上を確保してください。

※室内の気圧が負圧状況下にて置いては、必ず本体へ直接外気導入が出来る仕様とさせていただきます。

※空内距離はメーカー推奨値となります。